



もと
うさ本ファミリー

楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

司書のオススメ本

～冷たいお菓子を作ろう!～

<企画展示コーナーから選んでみました>

小学生の頃、夏休みのおやつは近所の店まで妹の手を引いてアイスクリームを買いに行きました。母から渡されたお金を落とさないように握りしめ、お店ではどれを買おうか悩んだ記憶があります。

思えば、子どもの頃は母と一緒によくお菓子を作りました。冬にはマドレーヌやクッキーを焼き、夏にはジュースを製氷皿に入れて凍らせたり、粉末タイプの素を牛乳に溶かしてプリンを作ったり。自分で作るおやつは、店で売っているお菓子よりおいしく思えたものです。

子どもはお料理もお菓子作りも大好き。お休みの日に、手づくりの冷たいお菓子を楽しんでみてはいかがでしょうか?

新しい本が
入りました。

()内の数字は
棚の番号です

『産後ママの体と心
トラブル解消BOOK』

日本放送出版協会/
編・刊

2010.6

(支援1-4)

『手ぬぐいで作るこども服』

モリユカ/著
アスペクト/刊

2010.7

(支援2-1)

『こどもの予防接種
知っておきたい基礎
知識』

金子光延/著
大月書店/刊

2010.7

(支援2-3)

『子どもの「やる
気」のコーチング』

菅原裕子/著
PHP研究所/刊

2010.7

(支援3-1)

<おススメbook>

『かんたん!かわいい!
だいすきぷるふわスイーツ』

山崎しづか/著
宝島社/刊



『できた!冷たいお菓子と
飲みもの』

日本ヴォーグ社/刊



『混ぜて固めるだけ
ぷるるんデザート』

葛西麗子/著
講談社/刊

このコーナーでは、子育て中の方に役立つテーマを選び、実際に図書館で司書が探し出した資料や、それをどうやって調べたか、調査して感じたこと、後日談などをご紹介します。

夏休みも終わりに近づきました。小学生の保護者の皆さん、お子さんの宿題は終わりましたか？毎年、夏休み突入と同時にたくさんの親子連れが来館され、宿題の調べものをされています。調査のお手伝いをするレファレンス・カウンターでは、毎日いろんな質問を受けます。

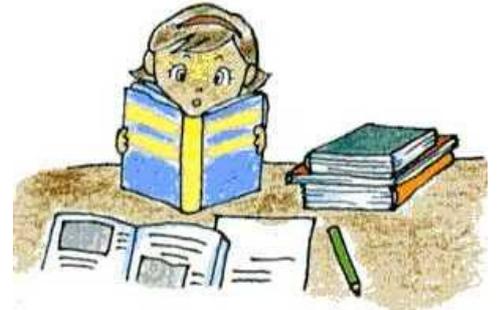
その中でも、よく聞かれるのが「香川県の特産品について調べたい」というご質問。この夏も、「和三盆について書いてある本はどこですか？」と小学6年生の女の子がやってきました。

郷土資料は大人向け

香川県に関する内容の本は、「郷土資料コーナー」にあります。本の書名などに“和三盆”を含む本は10冊ありましたが、9冊までが郷土資料コーナーの本でした。

書名を眺めると、ほとんどが大学の研究紀要（論文集）や、何十年も前の難しそうなお本ばかりです。

実は、子ども向けの「郷土資料」はとても数が少ないのです。



子どもにわかる資料はどこに？

子ども向けの本は児童資料コーナーにあるので、まずは依頼者の女の子と行ってみました。

380（食文化）、580（食品工業）の棚を見ていると、『砂糖の絵本』（農山漁村文化協会）、『砂糖のちから』（素朴社）が目にとまりました。和三盆は砂糖。目次を見ると、少しですが説明が載っていました。その後、郷土資料コーナーの特産品の分類のところに案内して、いくつか紹介しました。大人向けの本だから、保護者の方に解説してもらってね……。



当館ホームページのトップページから「レファレンス事例」を選んでください。2の「Web参考資料コーナー」では、当館の参考資料コーナーにある本を本棚に並んでいる順番で見られます。

先に調べていた人がいた！

その時はすっかり忘れていたのですが、当館ホームページ内に「香川県立図書館レファレンス事例」というページがあり、そこで以前別の司書が「小学生向けの和三盆の作り方がわかる本はないか」という質問に答えた事例がありました。

“うさ本ファミリー” 作者が退職されました。

子育て支援コーナーのイメージキャラクター“うさ本ファミリー”の生みの親であり、企画展示のチラシにほのぼのとしたイラストを添えてくださっていた方が退職されました。これからも“うさ本ファミリー”は当コーナーのキャラクターであり続けますが、新しい絵が見られないのは残念です……。

編集後記

絵本作家のとよたかずひこ氏の講演会に小学5年生の息子が行ってきました。講演後サインをお願いしたら、なんと先生が彼の名前の漢字まで覚えていたそうです。実は何年前にもお会いしたことが。びっくり！